

## 第 15 回 静岡市ものづくり産業振興審議会 会議録

1 開催日時 平成 27 年 9 月 16 日（水）午後 3 時～午後 4 時 30 分

2 開催場所 ツインメッセ静岡中央棟 4 階 404・405 会議室

3 出席者 【委員】

二渡委員、本多委員、上田委員、小笠原委員、久留島委員、佐藤委員、  
高倉委員、竹内委員、鳥羽委員、中村委員、望月委員

【事務局】

築地経済局長、杉山産業振興課長、森地場産業担当課長、佐藤課長補佐、  
山本地場産業係長、三浦工業振興係長、頭師副主幹、朝倉主査、  
松田主任主事

4 傍聴者 一般傍聴者 なし 報道関係者 なし

5 開 会 杉山産業振興課長

皆様、こんにちは。産業振興課長の杉山でございます。早速ではありますが、定刻となりましたので、第 15 回静岡市ものづくり産業振興審議会を開催いたします。また、本日は、ご多忙の中を任期最後の審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本日は、お手元の次第のとおり、過日、皆様からご答申いただきました策定案をもとに作成した第 2 次静岡市ものづくり産業振興基本計画の概要説明と、次期ものづくり審議会への申し送り事項について、ご協議をいただければと思います。

それから、会議を始める前の確認事項といたしまして、3 点、お知らせいたします。まず、本日は、牧野委員から所用のため、欠席するとのご連絡をいただいております。本日の審議会については、静岡市ものづくり産業振興条例施行規則第 6 条第 2 項の規定によりまして、成立していることをご報告申し上げます。

2 点目としては、会議の公開であります。静岡市では附属機関等の設置及び運営に関する指針に基づきまして、附属機関の会議は原則公開となっております。今回の会議については、非公開事項となるものを含んでおりませんので、公開としたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

【各委員】 了承

（事務局：杉山産業振興課長）

ありがとうございます。それでは、公開といたします。また、審議の経過等によりまして、

非公開とすべき事項が生じた場合には、その都度、その旨を皆様にご決定いただくこととなりますので、よろしくお願い申し上げます。

3点目としては、会議録についても公開となりますので、事務局で会議録を作成し、会長と他委員1名のご署名をいただき、公開の手続きを行いたいと思います。会長以外の署名人については、高倉委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【高倉委員】承知しました。

(事務局：杉山産業振興課長)

ありがとうございます。それでは、次第に従いまして、会長あいさつ以降の議事進行については、二渡会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 6 会長あいさつ

【二渡会長】

皆様、本日はお忙しいところをご参集いただきまして、ありがとうございます。本日の審議会は、早いもので任期最後の会議となります。この間、皆様のご尽力によりまして、第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画の策定案を答申することができました。そして、現在、当局において、各事業の登載等を含めた実行的な基本計画にすべく、策定案をもとに検討を重ねている最中であると思います。この後、事務局から計画の概要などについて報告がありますので、皆様からは忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。振り返ってみますと、任期の2年間という期間はあっという間でありまして、その間、それぞれの委員の専門的なお立場から深い審議を行ってきたと自認しております。皆様には、この機会にこれまでの審議に厚くお礼を申し上げるとともに、任期最後の審議会を有意義に終わられるように屈託のないご意見を皆様から頂戴したいと考えております。本日の進行は、先ほど杉山課長からお話しがあったような手順で進めてまいりたいと思いますので、最後までよろしくお願いいたします。では、事務局からご説明をお願いいたします。

## 7 協議事項

### (1) 第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画の概要説明

(事務局：佐藤課長補佐)

それでは、基本計画の概要をご説明いたしますが、皆様のお手元にA3版の資料が2枚あるかと思いますが、それを使ってお話しさせていただきます。1枚目は、今回の基本計画に関する位置付けであります。本市には皆様もご承知のとおり、総合計画を筆頭に多様な計画が策定され、政策や施策が日々展開しております。この基本計画についても、総合計画の目指す方向や、商工や農業などの幅広い産業分野の振興を図る産業振興プランなど、そうし

た位置付けの中で施行されるものでありまして、特に「ものづくり産業」の根幹を担う製造業を対象とした振興計画となっております。また、2枚目でありまして、昨今では人口減少が多方面で叫ばれておりまして、基礎自治体である本市においても、それを考慮した施策形成を行う必要があります。そうした観点から本市人口の70万人維持を目標にする中、製造業に従事する方々の数を維持していこうという概要になっております。

今回の基本計画における特徴的な点としては、緑地率の緩和、大手及び傘下企業の設備投資への支援、プラットフォームによる戦略産業支援、市内中小企業の表彰などが挙げられます。また、従前の基本計画に掲げた企業の誘致・留置や産学官連携の促進、産業人材の育成、新商品の開発や販路開拓などについては、引き続き、支援施策を展開してまいります。

こうした支援施策の展開に向けては、総務省が解析する従業者数のビックデータを用いております。本市製造業の優位性を示す3つの産業を視野に入れて検討したところであります。まず、1つ目は電気機械器具産業、2つ目が食品製造業、3つ目に家具装備品が挙げられておりますので、こうした地域の基幹産業への支援も併せて執り行っていきたいと考えております。このような産業への支援を図ることによりまして、簡単なことではないものの、収益性の向上、設備投資、従業者の確保などにつながる動向を、他の産業支援機関とも連携して取り組んでいきたいと考えております。

次いで、基本計画の期間であります。上位計画の総合計画や産業振興プランがそれぞれ8年間の計画期間を有している中、今回の基本計画については、その半分の4年間とさせていただきます。この点については、これまで皆様からご意見を伺ってきた中では、経済情勢が日々目まぐるしく変化する状況において、3年でも長いとのご意見を頂戴しました。一方、行政機関の計画であるならば、その施行にあたり上位計画との整合も図る必要があるとのご意見も見受けられましたので、事務局の方で4年間という期間を設定させていただきました。概要については、以上のとおりであります。第1次の基本計画は地元の伝統工芸などに関する中小及び零細企業の皆様を主に支援する内容が特徴的でありましたが、今回の第2次基本計画では、先ほども申し上げましたとおり、本市基幹産業の電気機械器具産業などの大手を含めた支援を盛り込んでいる点が特に新しく要素となっております。なお、伝統工芸などの地域に根付いた産業についても、お手元の資料のとおり、引き続き支援を展開していきます。

この基本計画の策定にあたりましては、皆様からの答申をもとに事務局の考え方を含めて取りまとめさせていただきました。ここに至るまでの皆様のご審議に心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

## 【二渡会長】

ありがとうございました。今回の基本計画に私達の審議結果がどのように取り込まれたのか、ただいまの事務局でご理解をいただけたかと思っております。それでは、事務局からのご説明に対しまして、質疑なり意見がありましたら遠慮なくご発言をいただきたいと思います。

**【高倉委員】**

我々の意見を反映させていただき、更には新たな視点を盛り込んだ基本計画であると思います。特に緑地率の緩和については、費用の負担を伴わずに大手企業を支援する施策としては評価できると思います。その上で、先ほど産業振興プラットフォームによる支援とご説明がありましたが、この「プラットフォーム」について、若干のご説明をお願いしたいと思います。

(事務局：佐藤課長補佐)

新商品の開発や販路拡大など、企業によって多様な課題やニーズがあろうかと思えます。こうした企業のニーズ等に対しまして、産業支援機関や金融機関がタイムリーに支援できる「場」や「機会」というものを当方で整備したいと考えております。少し言葉は荒くなりますが、企業が求める支援を多くの支援機関が執り行っていくようなステージを「プラットフォーム」と捉えております。

**【二渡会長】**

大方は理解しましたが、プラットフォームという言葉の意味を教えてください。

(事務局：築地経済局長)

言葉の意味合いとしましては、水平で平らな場所というものになります。ここで言うプラットフォームは、各企業が有しているシーズ等を磨き上げることで、企業が収益性を確保するとともに、地域産業の振興に役立たせていくためには、どのような支援が必要にあるのかということに関係する多くの専門家や金融機関などの支援者で考えて実行していこうという、土台となる環境ともいうべきものになります。

**【二渡会長】**

プラットフォームという言葉は、一般的に駅舎の一部として電車が到着し出発する場所と解されるが、この場合、企業が新たな道へ進もうとする際の出発地点を理解しているのか。

(事務局：佐藤課長補佐)

そのとおりであります。新しい取組を試みようとしている企業を後方から、或いは側面から支援し、新しい出発を促す機会とご理解いただければと思います。そうした取組をプラットフォームと表現しています。

**【二渡会長】**

皆様、よろしいでしょうか。

**【高倉委員】**

分かりました。それでは、企業の求めに応じて随時、そうした機会を設けることになるのでしょうか。それとも、定期的に支援を検討する機会を設けるのか、どのようなものになるのでしょうか。

(事務局：佐藤課長補佐)

定期的ではなく、随時で行っていきたいと思います。当課では企業を訪問し、ニーズや課題などをお伺いしておりますが、それに呼応するかたちで随時対応を図っていきたいと考えております。

**【高倉委員】**

分かりました。ありがとうございます。

**【二渡会長】**

他にご質問やご意見はありますか。

**【中村委員】**

今後、この基本計画は地元の産業界をはじめ、広く市民に浸透していくことと思われませんが、人口70万人の維持という点については、現代の社会情勢のほか、人口に社会減、自然減などを考慮すると非常に難しいのではないかと感じています。だからこそ、商工分野に身を置くこの審議会では従業者数に焦点を当てて、このような基本計画を策定したということは十分理解しています。この基本計画を進めていく上では、仕事があるから従業者数が減少しないというだけでなく、子育てや環境などを所管する他部局と連携し、従業者数が増加していくような施策を経済局としても検討してほしいと思います。

**【二渡会長】**

中村委員のご意見は最もだと思います。しかし、この審議会で検討した「ものづくり産業の振興」に関する基本計画については、先ほど、事務局からのご説明にもありましたが、静岡市の総合計画を上位計画と位置付けて、その体系のもとで策定された基本計画であります。当然ながら他の部局との連携は必要だと思いますが、この審議会では、産業振興を基軸に議論すればいいのではないかと感じます。その分野の議論については、専らそうした分野を検討している審議会などにお譲りできればと思いますが。

(事務局：佐藤課長補佐)

中村委員と二渡会長が言われたことは、どちらも正しいと思います。企業誘致などで訪問する際には、産業支援だけでなく、首都圏からの1時間で移動が可能であるとか、温暖な気

候であるとか、子育てがしやすい環境にあるとか、企業にとって本市で活動しやすい魅力などをアピールしています。

**【二渡会長】**

分かりました。この審議会では、産業面から人口70万人の維持に向けた議論を行っていないので、中村委員は先ほどのようなご意見を言われたのだと思います。あくまでも、人口維持に関する点は、静岡市の上位計画に従って加えられた視点であると理解したいと思います。

(事務局：杉山産業振興課長)

企業へのヒアリングやアンケートなどの結果からは、直接的な産業支援のほかに、住みやすさや交通の利便性などの暮らしやすさについて、お話しになる企業も数多くあります。こうした点を首都圏などの企業を訪問する際には、本市の優位性として強調してお伝えしております。

**【二渡会長】**

分かりました。一般に企業の場合、目標を定めた後は、各部署でその目標に向けた実行計画を検討し、社内で情報を共有しながら進めていきます。一つの部署が全てに取り組む訳ではありません。今回の審議会では、人口70万人の維持に向けて、他の専門部署なり、担当課を含めて総合的な議論を経っていないので、産業振興を旨とする「ものづくり基本計画」がそれらを全て包含するかなのような捉え方も出てきているのではないのでしょうか。

**【二渡会長】**

他にご意見などはありますでしょうか。鳥羽委員、いかがですか。

**【鳥羽委員】**

大方は理解できました。ただ、私は地域に縁の深い伝統工芸を生業としておりますので、普段から大きな視点で眺めることが不得手だなど、この審議会に参加する度に感じています。それでも、これからの伝統工芸を考える上で、審議会の議論は個人的にも非常に興味深いため、有意義な機会であると思っています。

**【二渡会長】**

今回の基本計画でも、第1次に続いて、伝統工芸産業を取り扱っていますが、今回の第2次における基本計画でも、それが重視され、体系下のどのポジションにあるのかということをご理解いただけたでしょうか。

**【鳥羽委員】**

本市の伝統工芸産業は、全体の製造品出荷額を眺めますと、それほど大きいものではありません。しかし、静岡市はそうした小規模な産業である伝統工芸に対して、多様な支援策を準備してくれており、単なる金額だけでない地域としての文化的、或いは技術的な価値を認めてくださっていると実感しています。誠にありがたく、これに応えるよう努めていかなければならないと思っています。

**【二渡会長】**

今回の議論では、人口 70 万人とか、従業者数とか、製造品出荷額などの数値を多数目にしてきました。そうした中でも、伝統工芸産業については、審議会の任意の下部組織として、伝統工芸に関する部会と設けて議論をしてきたと思います。この場での議論では、出荷額などの数値だけでは捉えられない静岡市の文化や歴史を含む大切な地域の資源であるとの認識に至ったものと理解しています。だからこそ、基本計画にしっかりと位置付けられ、相応の支援策が展開される対象分野となっているのだと思います。

**【本多副会長】**

私は鳥羽委員と同じ伝統工芸を含む地場産業に身を置く一人として、この数年における地場産業の実態というか、推移などが分かれば教えてほしいと思います。また、こうして静岡市が基本計画の中で支援策を設けてくれていることに対しては、今後の地場産業をどのようにしていけばよいのかという点で大きな責任を自覚したところであります。

**【二渡会長】**

竹内委員は何かありますか。

**【竹内委員】**

この審議会に参加して、最初は静岡市の伝統工芸産業を保護していく機関なのかなと思いましたが、議論が進むにつれ、大手企業を含めた基幹産業にも目を向けていかなければならないとも思いました。最近では、静岡市に活動する全ての「ものづくり事業者」の中から、きらりと輝く要素を如何に見つけ出し、育て上げていくのかという点を理解しましたし、そうした方向で自分自身も取り組んでいかなければと思いつけているところです。

**【二渡会長】**

ありがとうございました。佐藤委員はいかがですか。

**【佐藤委員】**

私も伝統工芸に従事していますが、審議会の委員になるまでは、このような議論を踏まえ

て伝統工芸に対する支援策が整えられていることについて知りませんでした。先ほどの本多副会長のご意見と同様ですが、これからの伝統工芸について、深く考え、日々の取組に邁進していきたいと改めて思います。ありがとうございます。

**【二渡会長】**

大方のご意見が出揃ったと思いますので、今回の基本計画に関する議論は、このあたりで終了し、次の協議事項に移りたいと思います。次は、任期2年を振り返り、次期審議会への申し送り事項について協議したいと思います。よろしくお願いします。

**7 協議事項**

**(2) 任期2年間を振り返って**

**【二渡会長】**

それでは、皆様お一人ずつご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願いします。では、本多副会長からお願いします。

**【本多副会長】**

この2年間、二渡会長をはじめ、皆様には副会長として、大変お世話になりました。ありがとうございます。私は、この前の任期から参加していますので、計4年間、審議会の委員を務めさせていただきました。新たに基本計画が策定され、これから施行されていきます。次期審議会の皆様には、基本計画の施行と地元産業界の動向をしっかりと見つめていってほしいと思います。

**【久留島委員】**

2年間、ありがとうございました。私は本県西部の磐田から参加させていただいておりましたので、浜松市を中心とする自動車産業と静岡市のものづくり産業を比較考量しながら、その都度、発言させていただきました。

次期審議会には、今回策定した基本計画が今後、実行される中で、経済情勢や企業ニーズの変化などにより、現在の状況と多少異なっていく点もあろうかと推察しておりますので、そのような点を審議会には上手に微調整を図っていただき、静岡市のものづくり産業が上向きように取り組んでいただければと思います。

それから、地元で頑張る中小企業への支援として、審議会で具体的にご検討をお願いできればと思います。そうした姿が地域に広まれば、他の中小企業の取組も活性化されていくと思いますので、小さくても構わないので、成功事例を一つでも多く知らしめていくような議論を展開してほしいと思います。

### 【望月委員】

私にとって、この2年間はあっという間に過ぎてしまったような気がしています。伝統工芸ではありますが、出荷額が全体の1～2%であっても、他の産業分野が有しない静岡市の文化や歴史が色濃く反映された産業分野だと理解しました。特にこの分野は、少ない出荷額とは言え、新たなやる気のもとで、新しい考え方や手法などを取り入れることで活性化が図れるのではないかと感じています。ただ、伝統工芸創造部会の資料を眺めると、様々な取組をされているようですが、その実態をしっかりと把握し、成果を確認しているのかという疑問があります。資料に掲げる項目毎には、相応の表現で書き連ねてありますが、本当に実態が伴っているのかと心配になっています。

今後は、このあたりを確認しつつ、より良い方向性のもとで伝統工芸分野の振興に向けて取り組んでほしいと思います。もう少し言いますと、書かれていること、言うことは正しいと思いますが、それなりの成果や実態がほしいと思います。

### 【二渡会長】

望月委員が懸念されることは、よく分かります。施策の取組に対する進捗や成果などを確認しつつ、次の段階でどのような取組を進めていけばよいのかなど、今回の基本計画をどのように進めていくのかという点と深く関係するので、その点について、事務局から簡単にご説明をお願いします。

(事務局：佐藤課長補佐)

今回の基本計画からは、計画に登載した事業全てにおいて、PDCAサイクルでの進捗管理を実施したいと考えております。皆様のお手元にその資料を配布させていただきましたが、その書式を事業の担当者が作成し、事業の進捗確認、そして、改善・改良点を挙げながら、次の段階での取組などを進めていくような内容となっています。

### 【二渡会長】

ありがとうございました。望月委員、よろしいでしょうか。望月委員は皆様もご存知のとおり、東京藝術大学の名誉教授でありまして、伝統工芸などに精通するとともに、大変な情熱をもっておられる方です。先ほどのご意見も理解できますし、計画が計画に終わらないように、しっかりと事業の進捗を管理して伝統工芸の振興に資する取組を進めてほしいと思います。事務局には、そうした事業の進捗管理について、よろしくお祈りしたいと思います。望月委員、ありがとうございました。それでは、次に小笠原委員、お願いします。

### 【小笠原委員】

2年間、ありがとうございました。私は学生として若輩ながらも、審議会に参加して意見

を発言してきました。皆様とともに審議会に参加させていただき、こうして基本計画が策定されたことを嬉しく思っております。皆様、そして、事務局の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

**【二渡会長】**

ありがとうございました。では、中村委員、お願いします。

**【中村委員】**

私は静岡と清水の商工会議所に係る組織再編に従事しました。その際、これまで商工会議所内にあった業種別の部会の内、伝統工芸に関する部会を製造業部会に取りまとめまして、製造業をフィールドに多様な企業などが情報共有を図れる組織づくりを行いました。また、議員提案による「ものづくり条例」の制定に際しまして、静岡市議会の公聴会で意見を述べた経緯もありましたので、審議会の委員として、お声掛けをいただいたのかなと思っております。次期審議会の皆様には、利便性の良い交通や温暖な気候など、企業活動を行う上では国内屈指の立地にあると思いますが、そこだけではない企業に振り向いてもらうための施策を更に検討し、追及していくような取組を進めていってほしいと思います。ありがとうございました。

**【二渡会長】**

ありがとうございました。それでは、佐藤委員、お願いします。

**【佐藤委員】**

2年間、ありがとうございました。最初は戸惑うことが多くありましたが、皆様と基本計画の策定に向けて取り組めたことは嬉しく思っています。また、私は微力ながら、今後の静岡市の伝統工芸に関して、若い方々に魅力を感じてもらえるような取組とともに、若手の育成にも力を注いでいきたいと思っております。ありがとうございました。

**【二渡会長】**

ありがとうございました。次に、上田委員、お願いします。

**【上田委員】**

この2年間、本当にありがとうございました。私は市民委員として参加し、一般の市民として感じたことなどに関して意見を述べてきたと思っております。ただ、このような審議会に参加する機会を得て、産業振興を切り口に公の立場や専門的な議論に触れることで、産業の振興に向けた認識を深くすることができました。それから、伝統工芸産業であります、機械化できない作業や工程が残る産業分野ではないかと思うようになりました。それは、非常に大

切な手仕事であり、地域の資源として大事にしなければならないと思います。また、そのような伝統工芸の今後については、そこに従事する皆様が尊敬されるような状況が大変なことと思いますが、力強く作ってほしいと思います。最後に私の意見が、どの程度、基本計画の策定にお役に立てたのかは分かりませんが、こうした機会に参加させていただき大変感謝しております。皆様、本当にありがとうございました。

**【二渡会長】**

ありがとうございました。では、鳥羽委員、お願いします。

**【鳥羽委員】**

2年間、ありがとうございました。伝統工芸についてであります。支援は継続していただきたいと思いますが、その内容については、すでに間に合いそうにないところもありますので、次期審議会の皆様には、新たな基軸も持って支援の内容を議論いただきたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

**【二渡会長】**

ありがとうございました。では、高倉委員、お願いします。

**【高倉委員】**

この2年間、ありがとうございました。次期審議会への申し送りをお話しする前に、この2年間を私なりに振り返ってみたいと思います。今回の基本計画は、第1次のものとは異なって、静岡市の上位計画とのすり合わせが出来たと思います。また、今回の基本計画では、かなり事業をスリム化でき、事業の進捗管理にも役立つ仕立てになったのではないかと考えています。これは、今期審議会の成果であると思います。

次いで、次期審議会への申し送りですが、新しい基本計画では事業の進捗管理をPDCAサイクルで対応すると伺いましたので、途中経過を含め、進捗管理の状況を審議してほしいと思います。今期の審議会では、関連する資料の配布はありましたが、審議する機会がなかったため、是非とも次期審議会ではPDCAサイクルを有効に機能させるような議論を期待したいと思います。ありがとうございました。

**【二渡会長】**

ありがとうございました。では最後に竹内委員、お願いします。

**【竹内委員】**

今回の基本計画では、委員の皆様のご意見のほか、事務局も一緒に努めていただいた成果ではないかと思っています。ありがとうございました。さて、最後ですので少し自分なりの

発言をさせていただきますと、私の家は古くから印刷業を営んでおり、以前は、お茶、安倍川餅、東海道五十三次のマッチ、サンダルなどのラベルを作製しておりました。また、輸出用みかんの缶詰やラムネなどのラベルも作っていました。ただ、時間の経過とともに、多くのもが他のものに代わっていく中、そこで培われた経験や技術というものは、かたちを変えて別のものに生まれ変わっています。

次期審議会の皆様には、経験や技術の系譜と言いましょか、そうした経験や技術が静岡市から新たに派生して育ち、国内外に発信されていくような視点を持って議論に臨んでいただければと思います。ありがとうございました。

## 【二渡会長】

ありがとうございました。一通り、皆様からご意見を頂戴しましたが、皆様、何か他にありますでしょうか。特にないようであれば、私から一言申し上げたいと思います。

この2年間、この審議会に多様な分野からお集りいただき、静岡市のものづくり産業について議論していただいたことに、会長として感謝を申し上げます。この審議会では、限られた時間で議論できなかったことなどを、調査研究部会と伝統工芸創造部会という自由な議論が可能な機関を新たに設置して議論を深めました。これは、静岡市のものづくり産業に対する理解を大いに深め、基本計画の答申にも役立ったと認識しております。

そして、調査研究部会では牧野委員と高倉委員にご協力いただいて、静岡市の産業シミュレーションに取り組みました。将来の静岡市における産業の姿を検討するためには、非常に大切な取り組みですので、今後も少しずつ精度を高めていってほしいと思います。さらに、ここで見えてくる将来予測と現状の乖離を埋める施策について、地域への経済波及効果を含めて数値で把握できるようなレベルまで引き上げてほしいと思います。

それから、伝統工芸であります。保護するだけでは絶えてしまうと思います。考えてみますと、伝統工芸が誕生した当時は、今で言うところの新製品や新技術であった。つまり、新産業であったと思います。それが時代の変遷とともに移り変わり、生き残ったものが今の伝統工芸であると思います。現在の静岡市の伝統工芸には、将来の伝統工芸を支える確かな要素が含まれていると思いますので、その要素を審議会などで見つけ出して磨き、大きく育てていってほしいと思います。

また、手作業を基本とする技能オリンピックについては、現在でも多くの企業で活発に取り組まれています。それは何故かと考えてみますと、要するに伝統工芸の中に近代産業の原点があるということでもあります。この点は非常に重要な認識であり、今後の伝統工芸産業を考えていく上でも大切な事項として取り扱ってほしいと思います。

最後に静岡市のものづくり産業を考える上では、地元で立地する大手企業のOBを有効に活用することも考えてほしいと思います。現状、静岡商工会議所において、現場改善事業という大手企業のOBが地元の中小企業に出向いて、作業現場の改善などで着実に業績をあげています。すでに市内60社の中小企業が改善に取り組み、全国屈指の成果をあげています。

次期審議会には、こうした大手から中小企業に技術や経験が伝わる活動にも目を向けていただきたいと思います。

#### 【二渡会長】

では、事務局には皆様のご意見を整理して、次期審議会にお伝えいただきたいと思います。よろしくお願ひします。では、次に経済局長から何かお言葉があるようなので、よろしくお願ひします。

### 8 経済局長からのお礼

(事務局：築地経済局長)

本日も我々事務局に刺激となる活発なご議論をいただきまして、誠にありがとうございました。皆様には、この2年間、基本計画の答申に向けた審議とともに、任意で2つの部会を設けていただき、その場でも本市のものづくり産業の振興に関するご議論を行っていただきました。審議会を所管する経済局を代表して、皆様方に心からお礼を申し上げます。今後は、皆様に作成いただいた基本計画について、実効性を伴うような進捗管理に取り組み、本市のものづくり産業の振興に努めたいと考えております。誠にありがとうございました。

### 9 閉 会 杉山産業振興課長

本日も、最後まで熱心にご協議いただきまして、誠にありがとうございました。この2年間、審議会事務局を担当し、皆様から多くのことを勉強させていただきました。今後は、築地経済局長のお礼にもありまして、基本計画を着実に進めていけるよう努めていきたいと思ひます。皆様、本当にありがとうございました。以上をもちまして、本日のものづくり審議会を閉会いたします。お疲れ様でございました。

本会議録は、平成27年9月16日開催の「第15回静岡市ものづくり産業振興審議会」の会議内容と同一であることを証する。

署名人 会 長 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_